

第28期第9回常任理事会議事録

日 時：1995年6月15日 13時30分～16時50分

場 所：気象庁内日本気象学会事務室

出席者：松野、関口、大西、小倉、斉藤、里村、竹内、
田中、永田、中村、新田 以上11名

議 事：

1. 第28期第3回理事会議事録の確認

一部修正のうえ承認。

2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…後援名義等使用申請2件を常任理事会として承認

国際海洋科学シンポジウム共催（日高海洋科学振興財団主催，95年11月，松江市）

第9回数値流体力学シンポジウム協賛（数値流体力学学会主催，95年12月，東京都文京区）

- 気象集誌に対する文部省補助金につき，487万円の内定通知があった。
- 関西および北海道支部が行う一般向け講演会（夏季大学の一部）に対して申請していた文部省研究成果公開促進費補助金の内定通知があった。それぞれ86万円と25万円の予定。
- 95年度総会で議決された4名の名誉会員被推薦者から，名誉会員就任を受諾するとの回答があった。
- 日本工学会から「科学技術基本法」の議員立法に対する支援依頼があり，回答期限が迫っていたため全理事に対して書面で対応方針についての問い合わせを行った。16名の理事から回答があり，気象学会として支援することを支持する回答が多数ではあったが，法案のなかで学術会議の果たす役割が全く触れられていないとか，法律の必要性などがよく理解できない。検討材料不足のまま無理に支援を決定する必要はないなどの慎重論も少なからずあったため，今回は「態度保留」と回答した。

会計…95年4，5月の収支状況を報告。順調に推移。

天気…6月号の内容及び7，8，9月号の予定を報告。インターネット紹介特集を6，7，8月号で行う。秋季大会の講演申し込み用紙に誤りがあったので6月号で訂正する。

気象集誌…集誌の編集等を ELSEVIER に移管する件で，常任理事会として今後の方針を討議。

価格的には学会側の条件をほぼ満たしており，今後，総合的なメリット・デメリットを明確にする交渉を編集委員会で継続し，適宜常任理事会や理事会に報告すること，10月の秋季大会中に一般会員の意見を聞く機会を設けることなどを決定した。

研究ノート…「乾燥地の自然環境」は著者校正中で6月中に発行予定。その他，10件について原稿執筆中。

- LaTeX で原稿作成中の企画が数件ある。現在の印刷業者は LaTeX に対応できないので，著者が印刷用完成原稿を作成し，業者はそれをオフセット印刷するだけの作業にするなどの印刷方法の変更を検討中である。

教育と普及…今年の夏季大学テキストは従来よりも200部多い1000部印刷する。

- 「教養の気象学」について，章立て変更を含む具体案を検討している。7月12日の次回委員会で，具体的著者を想定した内容の検討を進める。

その他…（里村理事）春季大会の開催を担当した東京管区气象台からの報告を中心に5月31日に行われた95年第2回関東地区連絡会での議論を紹介。大会実行委員会・講演企画委員会・学会事務局の任務分担がよく分からなかった問題，研究会の会場管理のために職員を居残りさせねばならなかった問題，学会員でない気象台職員を動員することに対する不満があったこと，ポスターセッションの会場に対する不満が多かったこと，利用者の少ないスライド映写機やビデオ設備の手配を誰が誰の負担で行うかの問題などについて報告された。また，常任理事会としても大会の役割，春季大会と秋季大会の性格の違い，口頭発表とポスター発表のあり方などについて自由討論した。これらの問題について講演企画委員会で議論してもらい，その結果や提言を常任理事会や理事会にあげてもらおうことにする。

3. 会員の新規加入等について

個人58名の入会を承認。個人3名の退会を報告。

4. 山本・正野論文賞候補者の推薦について

5月15日の同賞候補者推薦委員会で決定された候

補者2名について、担当の高橋理事から経過を含めて理事長に書面で報告があり、推薦理由書の一部不明箇所について確認したうえ、全理事の承認投票にかけることとする。

5. 「気象科学事典」への対応について

第3回理事会での「学会として取り組む」との決定を受け、書店側との当面の折衝窓口を大西理事とすることを決定。書店側との折衝を進めながら、編集委員5名程度や執筆担当者の人選を平行して行っていくこととする。

6. 講演企画委員会の委員の交代について

沼口委員（国立環境研）の菅田会員（国立環境研）

への交代を承認。

7. 地学関連学会間連絡協議会（仮称）の設立呼びかけへの対応について

日本地学教育学会から「学校教育のなかで地学でどのような内容を教えることがより有効であるかを十分に検討する必要がある、その際、研究者の方々から意見をいただくことが不可欠。地学に関連する各学会と十分に意見交換を行うために関係学会間の連絡協議会を設立したい」との呼びかけがあり、これについて常任理事会として対応を協議。気象学会としても積極的に参加していく旨、返事することにし、担当者については後日決定することにする。



エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム—富山'95

主催：富山工業高等専門学校

会場：富山工業高等専門学校

後援：富山県、富山市、富山県高等教育振興財団

(〒939 富山市本郷町13番地)

会期：平成7年10月2日(月)～10月3日(火)

会議用語：英語、日本語

参加登録費・懇親会費：

参加登録月日	参加登録費（講演要旨集代を含む）			懇親会費
	学校・国公立機関関係者	企業関係者	学生・外国人	
9月10日まで	5,000円	15,000円	無料	5,000円
9月11日以降	7,000円	20,000円	5,000円	7,000円

ポスター発表での共同研究者のうち、発表者のみ参加登録費を免除します。